

日本生活科・総合的学習教育学会

# 第29回 全国大会 山梨大会 第19回 学会シンポジウムのご案内

開催日 令和2年11月14日(土)

## オンラインシステムを活用した大会の開催へ

休校対応による授業時数の確保、対面的な授業の回避、スタートカリキュラムや栽培単元の出遅れ等、コロナによる学校教育への影響は、これから先も様々な面で表面化してくるように思います。現時点ではまだ多くの制約の中での学校生活となっておりますが「何も咲かない寒い日は、下に下へと根を伸ばせ」という言葉があるように、やがて訪れる「収束」そして「終息」に向けた大切な機会として、またポストコロナの時代を生きる子どもたちのために、オンラインによる「山梨大会」「学会シンポジウム」の開催をご提案させていただきます。



写真提供：やまなし観光推進機構

### 新たな学びに向けての小さな一歩

山梨大会については、6月から11月への延期を決定し、その準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染防止に対する決定的な方策が見いだせない現状がある中で、県をまたいでの大規模な移動や、1,000人規模の集会も難しいという結論に至りました。

新型コロナウイルスとはこれからしばらく共存する関係を保っていかなければならず、今回の大会はもちろん、来年度以降の大会やシンポジウム等も見越した対応が求められています。

そこで、今年度は、オンラインによる方式を取り入れた大会として実施することとなりました。ごく小さい一歩ではありますが、次のステップにつなげるための第一歩であることをご理解いただき、例年以上の参加をお願いする次第です。

令和2年11月1日~13日 <自由研究発表>

オンラインによる<自由研究発表>を実施します。

例年と同規模の140件を越える申し込みが寄せられ、充実した研究交流が期待されます。参加者の皆様には、活発な討議をお願いいたします。本大会はオンライン開催ということで、下記の要領にて実施いたします。

### <自由研究発表>

- <自由研究発表>は、山梨大会のホームページからログインする形で、オンラインで行います。
- <自由研究発表>は、例年と同様に3~4本の発表ごとに36の分科会に分かれます。各分科会には1名のコメンテーターがつきます。(分科会のプログラムは、本大会要項に記載されます)
- 大会ホームページ内の<自由研究発表>プログラムには、分科会ごとに個別の「電子掲示板(Bulletin Board System: BBS)」がリンクされています。各分科会では、この「電子掲示板」を経由して、発表者が追加の発表資料へのリンクを貼ったり、参加者が発表に対してコメントを残したり議論を行ったりすることができます。(参加者の皆様の活発なコメントの入力をお願いします)
- 「電子掲示板」にコメントを入力できる期間は、11月1日~13日を予定しています。分科会での発表にはこの期間内に参加者もログインしてコメントや感想を入力することができます。
- <自由研究発表>の各研究発表の「発表要旨」は、「山梨大会紀要」に記載されています。また、大会ホームページの<自由研究発表>にPDFがリンクされていますので、ご参照ください。

※<自由研究発表>についての詳細は、大会ホームページにて随時更新いたします。最新の内容をご確認いただきますようお願いいたします。

## 大会参加のご案内

★★学会ホームページから、お申し込みください。★★  
<https://seikatsu-sougou.org/>

★令和2年8月21日(金)~10月19日(月)が申し込み期間です。

※旅行代理店のシステム使用

★オンラインシステムを活用した開催となります。オンライン環境(WI-FIやPCなど)がある場所ならば、どこからでも参加できます。

★参加費は、「山梨大会紀要」代として1,500円(事務手数料不要)です。

★山梨県内の国公立幼・小・中・高・特支学校、私立幼稚園の教職員の皆様は、申し込み手続きが不要です。ご自身の所属校・園に送付される「山梨大会紀要」および「パスワード」「ID」をお確かめになり、ご参加ください。なお、山梨県内在住であっても、上記の学校・園の教職員でない方は申し込みをお願いします。

★「山梨大会紀要」は、申し込み者宛に11月初旬までに送ります。

【お願い】大会形態の変更により、当初予定していた協賛等が見込めなくなったこともあり、会員の皆様には、こうした状況にご配慮いただき、「山梨大会紀要」の積極的な購入・参加呼びかけをお願いいたします。

山梨大会事務局：山梨大学 饗場(あいば)研究室 電話：055-220-8126 メール：haiba@yamanashi.ac.jp

令和2年11月14日(土) 大会当日 午前

◆ ON LINE 1 - 課題別研究発表 ◆ 10:30~12:00

コロナ禍により、子どもを取り巻く状況は刻一刻と変わり、今後どうなっていくのか予断を許さない状況が続いています。まさに今、新型コロナウイルスの感染拡大防止という答えのない課題に対して最適解を導き出すこと、「探究」する力が試されています。

この意味において、生活科も総合的な学習・探究の時間もより一層の充実が必要ですが、どのようにカリキュラムを組み直し、学びを進めるか、走りながら取組を練り上げ修正し、改善していく柔軟性が求められています。この取組は、学習指導要領が求める学びの実現を加速し、これまで以上に効果的で密度の濃い授業が実現できる可能性を秘めています。

今回、開催県山梨の部会を含め5つの部会で、次のようなテーマで、研究者、実践者、管理職や行政担当者などをメンバーとして幅広い視点で事例や論考を交流し、少しでも明るい未来を見通せる時間に来たらと思っています。

- ・“Zoom ミーティング”による開催(予定) ※ 資料は「山梨大会紀要」等に所収
- ・分科会に参加する「ID」と「パスワード」は、11月初旬に送ります。

	テーマ	コーディネーター	コメンテーター
1	生活科・総合的な学習の時間を核としたカリキュラム・マネジメントによる学校づくり～コロナ禍を乗り越え、より深い学びを実現する学校へ変える～	宮城教育大学 猪股 亮文	文部科学省 石田 有記 久留米市教育委員会 四ヶ所清隆 仙台市立荒町小学校 鈴木美佐緒 岐阜大学教職大学院 三島 晃陽
2	生活科の授業を要とした低学年の学校生活づくり～幼児教育の成果を引き継ぎ、他教科等とつないで、日常生活を豊かにする～	愛知教育大学 中野 真志	大分市立金池小学校 石井 真澄 天童市立中部小学校 大谷 敦司 京都市立梅津北小学校 平田 あや 上越市立大手町小学校 浦仮 直樹
3	小・中学校の総合的な学習の時間の目標を 実現するにふさわしい探究的な学びづくり ～ポストコロナ社会を生き抜く資質・能力を 明らかにし、より探究的な授業に充実・改善する～	福島大学 宗形 潤子	横浜市立本町小学校 相澤 昭宏 岡崎市立羽根小学校 内田 裕斗 大分県教育委員会 後藤 竜太 秦野市立西小学校 南 正敏
4	高等学校「総合的な探究の時間」、 探究の高度化と自律的な探究の学びづくり ～ポストコロナ社会の担い手としての資質・能力を 育成し探究する質の高い授業を創造する～	金沢大学 松田 淑子	(一財)地域・教育魅力化プラットフォーム 岩本 悠 愛知淑徳大学 加藤 智 北海道江差高等学校 藤島 尚子 静岡県教育委員会 眺野 大輔
5	異校種間の連携、つながりのある学びの構築	山梨大学 中村 和彦	山梨県立甲府第一高等学校 小泉小百合 山梨大学教育学部 // 附属幼稚園 古屋あゆみ // 附属小学校 岡里 秀和 // 附属中学校 梶原 隆一 // 附属特別支援学校 青木 雄一 上越教育大学 河野麻沙美

令和2年11月14日(土) 大会当日 午後

◆ ON LINE 2 - 全体会 ◆ 13:00~13:10

◆ ON LINE 3 - 山梨大会シンポジウム  
兼 学会シンポジウム ◆  
13:10~15:10

未だ終息の見通しが立たないコロナ禍での暮らしの中、学校教育では園児・児童・生徒がこれからの生活や生き方を切り拓いていく資質・能力の育成が求められています。そんな中、生活科・総合的な学習の時間が果たす役割とは何なのでしょうか? 今回のシンポジウムでは、これからの生活科・総合的な学習の時間で取り組むべき「方法」や「内容」の在り方に焦点を当てます。このような状況におかれても今年度新たな授業の創造に取り組んできた実践者の報告と、識見を有する研究者の語り合いから「これからの暮らし」を探究する意義と可能性を、参加者の皆様と一緒に探っていきたいと思います。

なお、今回の「山梨大会シンポジウム」は、例年、立教大学を会場に11月に実施されている「学会シンポジウム」との共催といたします。

- ・“Zoom ビデオウェビナー”や“YouTube”による開催(予定) ※ 資料は「山梨大会紀要」に所収

テーマ	コーディネーター	シンポジスト
「新しい生活様式」の時代の 生活科・総合的な学習(探究)の時間 -「これからの暮らし」を探究する意義と可能性-	安田女子大学 日本生活科・総合的学習 教育学会第10期会長 朝倉 淳	甲南女子大学 村川 雅弘 國學院大学 田村 学 大田区立久原小学校 小笠原さちえ 新潟市立小針小学校 小川 雅裕

全体司会	全体オンライン会議システムコーディネーター
愛知教育大学 加納 誠司	相模原市立田名北小学校 荒木 昭人

※「シンポジウム」についての詳細は、大会ホームページにて随時更新いたします。最新の内容をご確認いただきますようお願いいたします。

- ・全体会・シンポジウムへの参加につきましては、大会ホームページでご案内します。

◆ ON LINE 4 - 交流会 ◆ 15:30~

- ★ 山梨発：ワインうんちく講座(15分程度)
- ★ 10人程度のグループごとの懇親・懇談会(20分程度)リレートーク
- ★ 次期開催県挨拶
- ★ お礼の言葉

- ・“Zoom ミーティング”による開催(予定)
- ・交流会に参加する「ID」と「パスワード」は、11月初旬に送ります。